

◆ 今週のコメント

- レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(60歳代男性)あり、症状は発熱、呼吸困難、意識障害、多臓器不全です。本年の累積報告数は16例となっています。
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が3例(80歳代男性、60歳代及び80歳代女性)(第46週及び第47週追加報告分2例含む)あり、本年の累積報告数は70例となっています。
- 梅毒の報告が1例(50歳代男性)(第46週追加分)あり、本市の累積報告数は44例となりました。平成25年の8例からみると、3年間で約5倍以上の報告数となっています。早期発見、早期治療が重症化や二次感染の防止につながります。京都市では、平日に市内各保健センターにおいて梅毒を含むHIV・性感染症検査を行っています。詳細については以下のホームページを御覧ください。
○京都市情報館「平日HIV検査・性感染症検査(予約不要)」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000028204.html>
- インフルエンザの京都市の定点当たり報告数は1.46(101例)で、流行開始の指標となる「1」を超え、流行シーズンに入りました。前々週(第46週)には、すでに全国の定点当たり報告数が「1」を超えており、今後、流行の拡大が予想されます。感染予防のため、流水と石けんでよく手を洗い、バランスの良い食事と十分な休養を心掛けましょう。発生状況の詳細及び手洗いの方法については、以下のホームページを御覧ください。
○京都市情報館「インフルエンザ発生状況」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000102856.html>
○京都市情報館「手洗いの方法」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000197/197526/tearai.pdf>

◆ 今週のトピックス:<感染性胃腸炎>

- 京都市における感染性胃腸炎の定点当たり報告数は16.12(677例)となりました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 4例(肺結核 3例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 なし)喀痰塗抹陽性 2例
【1月以降の累積報告数 310例(肺結核 164例, その他結核 70例, 潜在性結核感染者 76例)うち喀痰塗抹陽性 78例】
- 四類:レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 16例】
- 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 26例】
- 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 3例(第46週及び第47週追加報告分2例含む)【1月以降の累積報告数 70例】
- 五類:梅毒1例(早期顕症)(第46週追加分)【1月以降の累積報告数 44例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

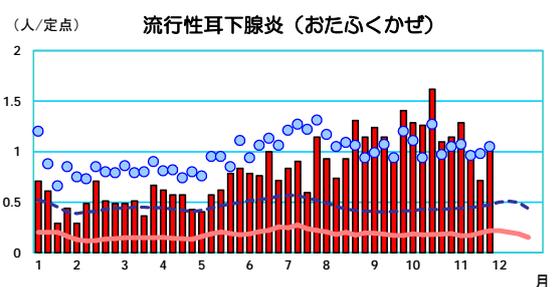
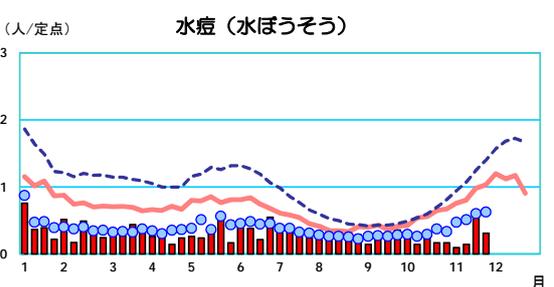
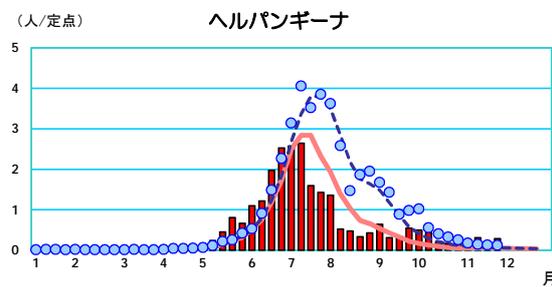
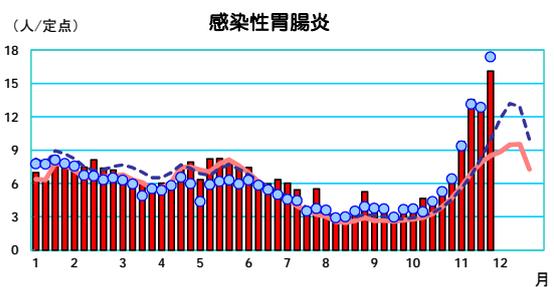
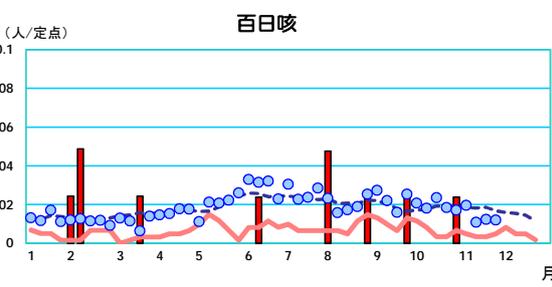
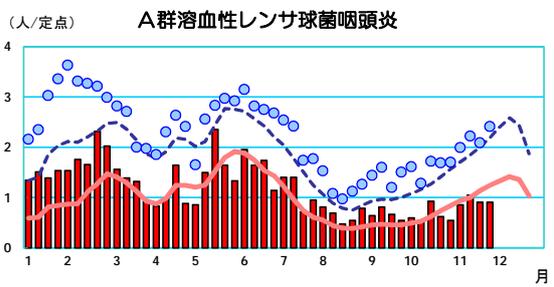
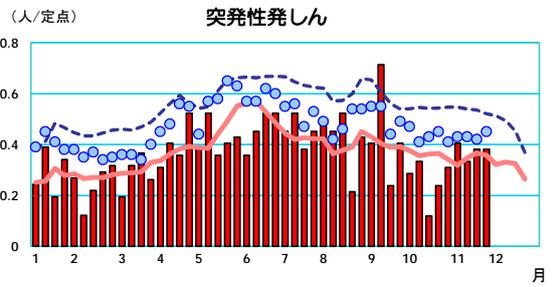
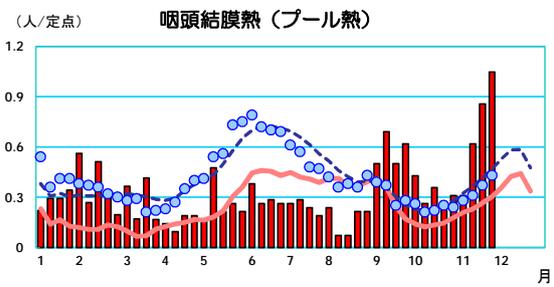
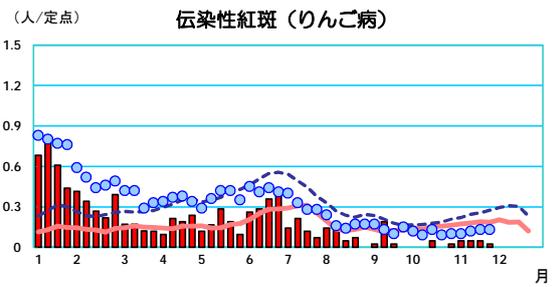
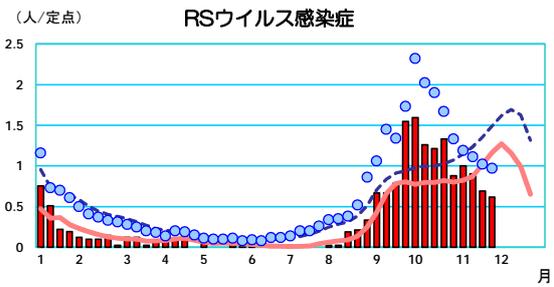
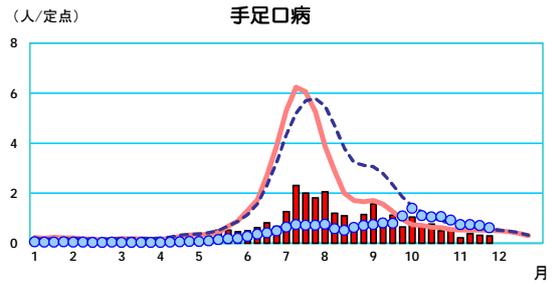
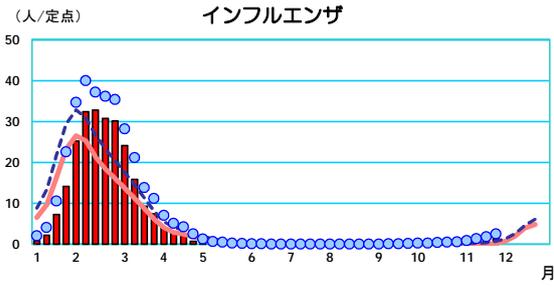
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	1.46	101
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	16.12	677
	② 流行性耳下腺炎	1.07	45
	③ 咽頭結膜熱	1.05	44
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.90	38
	⑤ RSウイルス感染症	0.62	26
眼科	流行性角結膜炎	0.30	3

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<感染性胃腸炎>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成28年12月7日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成28年）



第48週(11月28日～12月4日)トピックス: <感染性胃腸炎>

京都市及び全国の発生動向

京都市における感染性胃腸炎の定点当たり報告数は16.12(677例)となりました。特に第45週から京都市、全国ともに報告数が急増し、過去5年平均を大幅に上回る報告数で推移しています(図1)。過去5年間の定点報告数の推移を見ても、第45週以降、最も流行した平成24年に迫る流行となっています(図2)。京都市の11行政区の報告数を見ると、流行している地域が顕著で、左京・東山・右京・伏見・西京の各区で警報レベルである「20」を超えています(図3)。今後の発生動向に注意するとともに、高齢者施設や保育所等での集団発生に警戒が必要です。

症状及び予防

感染性胃腸炎は、細菌またはウイルスなどの病原体による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。

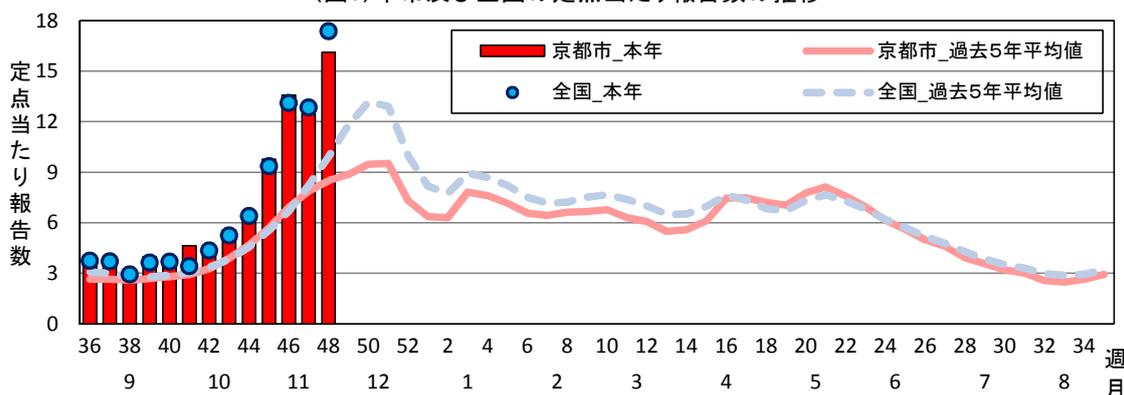
感染性胃腸炎の原因の多くはノロウイルスであり、このウイルスの潜伏期間は1～2日です。症状持続期間は1～2日と比較的短く、重症化することは少ないです。体力の弱い乳幼児、高齢者は脱水症状を起こしたり、体力を消耗しないように水分と栄養の十分な補給が必要になります。感染予防には、流水・石けんによる手洗いを励行しましょう。集団施設では突然の患者発生にすぐに対応できるように、消毒液(次亜塩素酸ナトリウム溶液)やマスクや手袋を含む嘔吐物処理セットを準備し、吐物等の適切な処理手順を確認しておきましょう。

厚生労働省では感染性胃腸炎についてQ&Aやリーフレットを掲載しています。下記URLを御参照ください。

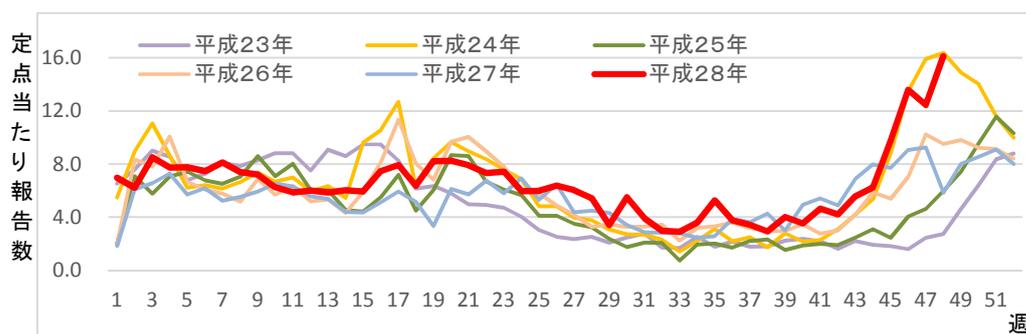
○「感染性胃腸炎(特にノロウイルス)について」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/norovirus/>

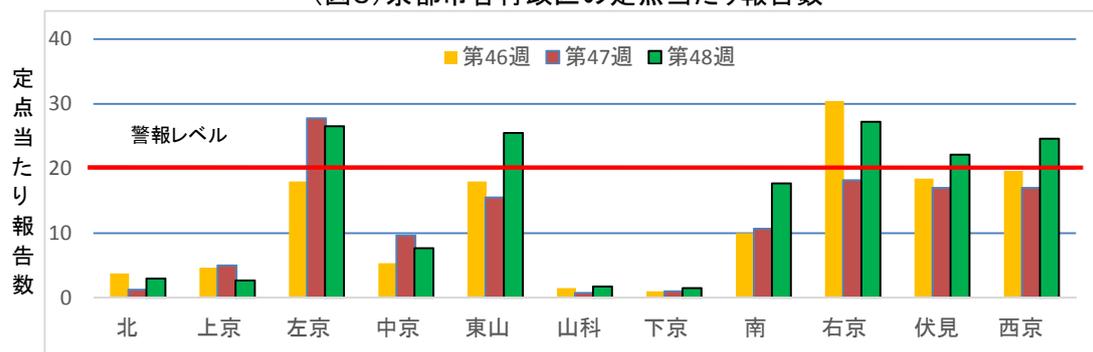
(図1)本市及び全国の定点当たり報告数の推移



(図2)過去5年間の京都市の定点当たり報告数の推移



(図3)京都市各行政区の定点当たり報告数



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第48週

疾病,行政区別報告数

平成28年11月28日～平成28年12月4日

データ入手日:平成28年12月7日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	百 日咳	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																				
北	16	2	1	-	12	-	-	-	-	-	-	2	-	1						
上京	6	-	1	3	8	-	-	-	1	-	-	-	-	-						
左京	11	1	-	5	106	3	5	-	2	-	9	3	-	-						
中京	8	3	-	1	23	1	-	-	1	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	21	3	-	-	51	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	3	3	-	7	7	3	2	-	3	-	-	14	-	-						
下京	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	1								
南	9	2	6	1	53	2	1	-	2	-	-	3								
右京	8	8	19	5	136	3	2	-	4	-	-	3	-	2						
伏見	10	2	16	6	155	1	1	1	3	-	1	10	-	-						
西京	9	2	1	10	123	-	1	-	-	-	-	8	-	-						
京都市計	101	26	44	38	677	13	12	1	16	-	12	45	-	3	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定数当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	百 日咳	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																				
北	2.29	0.50	0.25	-	3.00	-	-	-	-	-	-	0.50	-	1.00						
上京	1.20	-	0.33	1.00	2.67	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-						
左京	1.57	0.25	-	1.25	26.50	0.75	1.25	-	0.50	-	2.25	0.75	-	-						
中京	1.60	1.00	-	0.33	7.67	0.33	-	-	0.33	-	0.67	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	7.00	1.50	-	-	25.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	0.43	0.75	-	1.75	1.75	0.75	0.50	-	0.75	-	-	3.50	-	-						
下京	-	-	-	-	1.50	-	-	-	-	-	-	0.50								
南	1.80	0.67	2.00	0.33	17.67	0.67	0.33	-	0.67	-	-	1.00								
右京	1.00	1.60	3.80	1.00	27.20	0.60	0.40	-	0.80	-	-	0.60	-	2.00						
伏見	0.91	0.29	2.29	0.86	22.14	0.14	0.14	0.14	0.43	-	0.14	1.43	-	-						
西京	1.13	0.40	0.20	2.00	24.60	-	0.20	-	-	-	-	1.60	-	-						
京都市計	1.46	0.62	1.05	0.90	16.12	0.31	0.29	0.02	0.38	-	0.29	1.07	-	0.30	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第48週

年齢階級, 疾病別報告数

平成28年11月28日～平成28年12月4日

データ入手日:平成28年12月7日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上						
インフルエンザ(※1)	年齢1	101	-	-	-	2	4	3	2	3	5	4	3	10	13	13	9	7	8	7	6	2	
RSウイルス感染症	年齢3	26	8	3	10	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		44	-	2	9	9	7	9	6	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		38	-	-	3	3	3	3	4	1	6	2	3	7	-	3	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		677	2	31	79	76	67	71	67	60	35	31	19	55	9	75	-	-	-	-	-	-	-
水痘		13	-	-	1	2	3	3	-	2	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
手足口病		12	-	1	-	4	3	1	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		16	-	7	8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		12	-	-	2	3	2	-	-	2	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		45	-	-	1	4	2	3	3	10	7	5	4	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上						
インフルエンザ(※1)	年齢1	1.46	-	-	-	0.03	0.06	0.04	0.03	0.04	0.07	0.06	0.04	0.14	0.19	0.19	0.13	0.10	0.12	0.10	0.09	0.03	
RSウイルス感染症	年齢3	0.62	0.19	0.07	0.24	0.10	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		1.05	-	0.05	0.21	0.21	0.17	0.21	0.14	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.90	-	-	0.07	0.07	0.07	0.07	0.10	0.02	0.14	0.05	0.07	0.17	-	0.07	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		16.12	0.05	0.74	1.88	1.81	1.60	1.69	1.60	1.43	0.83	0.74	0.45	1.31	0.21	1.79	-	-	-	-	-	-	-
水痘		0.31	-	-	0.02	0.05	0.07	0.07	-	0.05	-	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.29	-	0.02	-	0.10	0.07	0.02	-	0.05	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.38	-	0.17	0.19	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.29	-	-	0.05	0.07	0.05	-	-	0.05	0.05	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		1.07	-	-	0.02	0.10	0.05	0.07	0.07	0.24	0.17	0.12	0.10	0.07	-	0.07	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.10	-	-	0.10	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第48週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成28年12月7日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		12	9	24	37	43	101
RSウイルス感染症		56	37	42	38	29	26
咽頭結膜熱		11	13	13	26	36	44
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		26	23	36	44	38	38
感染性胃腸炎		234	262	410	570	523	677
水痘		7	7	4	6	23	13
手足口病		21	23	9	16	13	12
伝染性紅斑		-	1	2	2	2	1
突発性発しん		10	13	17	14	16	16
百日咳		-	1	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		7	9	4	13	4	12
流行性耳下腺炎		46	48	54	42	30	45
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		1	5	3	1	5	3
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	1	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		431	451	618	809	763	988

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		0.17	0.13	0.35	0.54	0.62	1.46
RSウイルス感染症		1.33	0.88	1.00	0.90	0.69	0.62
咽頭結膜熱		0.26	0.31	0.31	0.62	0.86	1.05
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.62	0.55	0.86	1.05	0.90	0.90
感染性胃腸炎		5.57	6.24	9.76	13.57	12.45	16.12
水痘		0.17	0.17	0.10	0.14	0.55	0.31
手足口病		0.50	0.55	0.21	0.38	0.31	0.29
伝染性紅斑		-	0.02	0.05	0.05	0.05	0.02
突発性発しん		0.24	0.31	0.40	0.33	0.38	0.38
百日咳		-	0.02	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.17	0.21	0.10	0.31	0.10	0.29
流行性耳下腺炎		1.10	1.14	1.29	1.00	0.71	1.07
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.10	0.50	0.30	0.10	0.50	0.30
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	1.00	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		10.23	11.04	14.72	18.99	19.12	22.81

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。